

B+COM

ブルートゥースコミュニケーションシステム

TYPE:SB4X

OS2.0 機能および操作マニュアル



<B+COM SB4X OS2.0の新機能>

●ボイスアシスト

これまでのピープ音に加え音声案内(ボイスアシスト)機能を搭載。電池残量やペアリングモード、インカム通話の呼び出しなどの状態をかんたんな英語で案内します。

●オートグループコール

4人や3人でのチェーン接続によるグループ通話は接続が意外に面倒。

グループ通話を円滑に行うため、チェーン接続の末端側1人の操作だけで、自動で順番に接続して通話が始められるオートグループコールを搭載しました。

他の3人は、電源をONにして繋がるのを待つだけでなので、自分のバイクに向かって出発準備をしながら接続を待つことができます。

●インカムチャンネル限定リセット機能

待ち合わせ場所でB+COM同士のペアリングを行う際は、一旦リセットをしてから順番にペアリングを行うことで、不安定な接続や誤接続を減らせます。ただし、Bluetoothナビやスマートフォンとのペアリング情報までは消したくない。そんな時に便利なのがインカムチャンネル限定リセットです。

●グループ通話Withモバイル機能 【β版】

B+COMと繋いだ携帯電話で相手との通話中、走行中の仲間をB+COM通話で呼び出し、3者通話が可能です。

例えば、複数のグループでツーリング中、グループ間は携帯電話で連絡を取り合う場合に、グループの仲間を携帯電話の通話に加えることで効率良く伝達などが可能となります。

●ユニバーサルインターコール機能 【β版】

市販の携帯電話用ハンズフリーヘッドセットなどのハンズフリーチャンネルと接続することで、それらとインカム通話が行える機能です。

例えば、車で移動中の友人と並走する場合に通話が行えます。(通信距離は接続機器に左右されます)

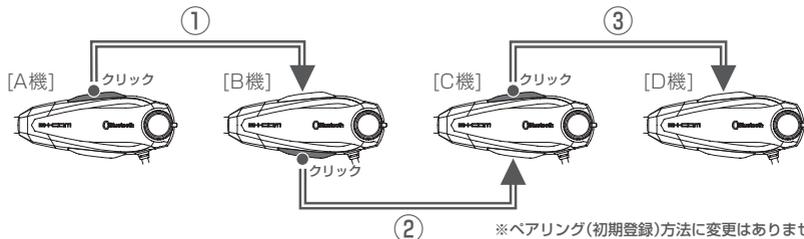
<B+COM SB4X OS2.0の改善点>

- グループ通話の接続安定性の向上のため、新しい接続ルールを設けました (P.02参照)
- オーディオ接続時に起こる問題を修正
- B+COM Station 接続対応モード「モードB」の搭載でMAX6台(推奨5台まで)接続可能に

OS2.0での新たな操作方法

<B+COM SB4X同士でグループ通話する新ルール(最大4人)>

以下の①→②→③の順番でのみ呼び出し接続が可能となります。

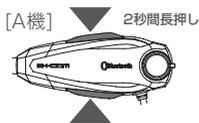


- ・ →と反対方向からの呼出しは不安定になるため行わないでください。
- ・ グループ通話中では不安定になるためデバイス接続はしないでください。

※ベアリング(初期登録)方法に変更はありません

<オートグループコール(最大4人)の操作方法>

上記の[A機]を以下の操作だけで、上記①→②→③の順番で自動で接続します。



B+COM1 ボタンとB+COM2ボタンを同時に2秒間長押しします。発音音が出来られ、[B機]→[C機]→[D機]の順で順番に接続します。

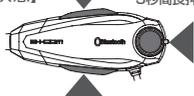
途中、[B機]、[C機]、[D機]のいずれかが、通話中の場合、またはいづれかが旧プログラムの場合はオートグループコールは停止します。

※オートグループコールが途中で失敗した場合はマニュアル操作で続きを接続してください。

<インカムチャンネル限定リセットの操作方法>

ハンズフリー機器やオーディオ機器を接続していない電源ON状態で以下の操作を行います。

【電源ON状態】



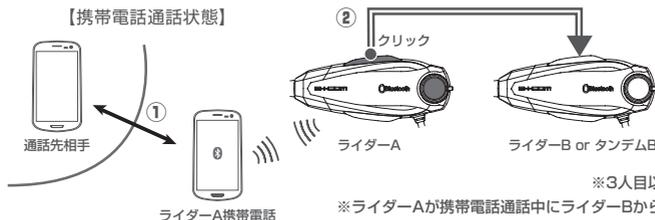
B+COM1 ボタンとB+COM2ボタン、デバイスボタンの3つを同時に3秒間長押しします。

「Reset Finish」と出力され、赤青LEDが点灯すれば完了です。

<グループ通話withモバイルの操作方法【β版機能】>

接続した携帯電話で通話中、タンデムまたは並走ライダーを通話へ参加させることができます。

①B+COM側でリダイヤル発信または、着信通話を行います。②通話状態のまま、B+COM1 ボタンまたはB+COM2ボタンを1クリックし呼び出します。



※3人目以降は呼び出しできません。

※ライダーAが携帯電話通話中にライダーBからの発信通話はできません。

※機種や状況により電源の立ち切れや動作が不安定状態になる場合があります。

OS2.0での新たな操作方法

<ユニバーサルインターコールの操作方法【β版機能】>

I.ユニバーサルインターコールのペアリング(初期登録)方法

ペアリング(初期登録)する際は、SB4Xをオールリセットして、2台を限りなく近付けて(数10センチ以内で)行ってください。

なお、ユニバーサルインターコールでは、グループ通話は行えません。

- ①ヘッドセットをペアリングモードにします ②SB4Xをペアリングモードにします ③自動認識し通話状態になります



操作方は
携帯電話との
ペアリング方
法と同じ!

【電源ON状態】
6秒間長押し



青LED高速点滅
(赤LEDの後に)

完了です

※テスト通話がされない場合は、
もう一度やり直してください。

II.ユニバーサルインターコールの通話方法

B+COM側

通話開始:1クリックで呼び出し
通話終了:通話中、1クリック



相手ヘッドセット側

通話開始:携帯電話のリダイヤル発信操作
通話終了:通話中、携帯電話の終話操作



※電源起動後こちら側から呼出できません

または、

※電源起動後、1回目の通話はB+COM側操作で行ってください。

※機器により片側からしか呼出できない場合があります。

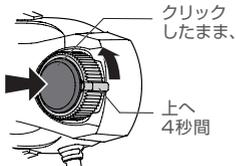
※機器により通信距離の短縮、ノイズ増、動作不安定などが起こる場合があります。

<B+COM Stationと最適に接続できるモード変更の操作方法>

B+COM Stationと最大6台(推奨5台まで)で最適に接続するための「モードB」を追加しました。なお、これまでの通常モードは「モードA」となります。

モード変更は電源ON状態で以下の操作を繰り返すことで順番にモード移行します。

【電源ON状態】



クリック
したまま、

上へ
4秒間

電源ON状態で、デバイスボタンをクリックしたまま、ボリュームダイヤルを上へ4秒以上固定します。

操作前とは逆のモードとなり、「Mode B」または「Mode A」と出力され、電源が自動でOFFになったら完了です。操作開始から2秒後に一旦「ブブ」とピーブ音が出力されます。誤操作の場合はここで手を離してください。

モードの説明と確認方法:

「モードA」…SB4X通常モード。電源ON時にモード音声無し。

「モードB」…Stationモード。電源ON時「Mode B」音声あり。通信距離も短縮されます。

※オールリセットを行うとモードAになります。

ボイスアシストの音声内容

<ボイスアシスト 案内内容>

【起動時に通知する音声】

- ・バッテリー残量
 - 「B+COM Let's Go !」…… =バッテリー残量-(多)
 - 「Battery Mid」…… =バッテリー残量-(中)
 - 「Please Charge」…… =バッテリー残量-(小)
- ・デバイス機器との接続完了（オートコネクトで接続完了した場合）
 - 「HFP ON」……ハンズフリー(主に携帯電話の通話機能との)接続完了
 - 「HSP ON」……ヘッドセット(主にデバイスのヘッドセットして)接続完了
 - 「A2DP ON」……オーディオ機能(音楽またはステレオナビ)接続完了

【ペアリング時の音声】

- ・携帯電話、ナビ、デバイス機器とのペアリング状態
 - 「Device Pairing Mode. Please Touch Phone & Device.」
- ・B+COM同士のペアリング状態
 - B+COM1 ボタンでの操作……「B+COM 1 Pairing」
 - B+COM2ボタンでの操作……「B+COM 2 Pairing」

【発信および通話呼び出し】

- ・携帯電話リダイヤル発信
 - 「Redialing」
- ・B+COM通話呼び出し
 - B+COM1 ボタンでの操作……「B+COM 1 Calling」
 - B+COM2ボタンでの操作……「B+COM 2 Calling」

【その他の音声】

- ・電源OFF……「Shut Down」
- ・リセット完了……「Reset Finish」（ALLリセットおよびインカムリセット共通）
- ・モード切替完了……「Mode A」または、「Mode B」
- ・マイクミュート……「Mic. Mute」